

軍隊を持たない国



コスタリカに学ぶ

～コスタリカの弁護士 ロベルト・サモラさんを招いて～

2019 **6月11日** (火)

18時～20時30分

(開場 17時30分)

当初予定していた
コスタリカの元大臣は、
都合で来日できなくなりました



長崎歴史文化博物館ホール

第1部 ロベルト・サモラさんの講演

第2部 サモラさんと高校生平和大使が平和について意見交換

コスタリカってどんな国？

軍隊をなくした国

1949年に憲法で常備軍を廃止し、1983年には「永世・積極的・非武装」中立を宣言。中米各国で続いていた内戦を和平へ導きました。

国家予算の3割が教育費

「兵士の数だけ教師をつくろう」と国家予算の3割をしめていた軍事費をそっくり教育予算に回しました。教育費、医療費ともに無料です。

自然エネルギーほぼ100%

九州と四国を足したくらいの国土の約3割が国立公園と自然保護区。豊かな自然で、電力の99.5%を再生可能エネルギーでまかっています。

核兵器禁止条約を提案

1997年、2007年、2017年の3回にわたって核兵器禁止条約を提案し、2017年、議長国として国連での歴史的採択へと結実させました。

ロベルト・サモラさん

弁護士。コスタリカ在住。37歳。

2003年、コスタリカの大統領がイラク戦争を支持した際、当時大学生だったサモラさんは「平和憲法を持つ国の大統領が他国の戦争を支持するのは憲法違反だ」と大統領を訴え、最高裁で全面勝訴を勝ち取りました。

卒業後、弁護士になったサモラさんはこう語ります。

「世界が平和でなければ、僕も平和に暮らせない。当時、周りからは裁判を起こしてもどうせ負けるからやめた方がいいと言われた。でも、憲法が危機に陥った時、国民にはたたかう責任がある」。

軍事力を持たずに外国からの脅威にどう対応しているの？

武力に頼らない国づくりって？

日本の9条改憲をどうみる？

地球の裏側の平和国家コスタリカから来日したロベルト・サモラさんにお話を伺います。

●長崎歴史文化博物館

長崎市立山1丁目1-1 (路面電車「市民会館」から徒歩8分、長崎バス、県営バス「公会堂前」バス停から徒歩8分、「市役所前」バス停から徒歩5分)

入場料
1000円
学生無料

●主催：「コスタリカに学ぶ講演会実行委員会 (言論の自由と知る権利を守る長崎市民の会、高校生一万人署名実行委員会など)」

●問い合わせ先：事務局 090-8398-5772